

# ささやき 第39号

編集・発行 特定医療法人 明和会 琵琶湖病院  
聴覚障害者外来スタッフ  
FAX 077-579-5487  
TEL 077-578-2023

## 聴覚障害者外来 10年の取り組みから

一九九三年四月に開設された当院の聴覚障害者外来は、今年四月から十一年目に入りました。この十年間に外来を受診された患者さんはのべ六八五五名、実数は四七七名となります。患者さんの居住地の分布では滋賀県と京都府がほぼ同数で両者を合わせた全体の約七割を占めます。また、近畿地方全体では約九割となり、残り一割が東海、北陸、関東、中国地方からの受診です。

医師 藤田 保  
病状面をみると聴覚障害に起因する周囲とのコミュニケーションや人間関係のトラブルなどいわゆる心身的不調をきたすものが自立できます。当院は十分な対応が可能かどうか懸念されていますが、十一年間で四五名の聴覚障害者が六九回入院されました。圧倒的多数の健康者と共に療養をする多額のものがストレスとなりかねない現実は、社会の縮図のようでありますが、患者さんばかりでなく病院スタッフの円滑なかけて来られる方もあります。が、近畿地方以外からの受診が一割というのはかなり大きな割合といえます。これは驚愕して聞かざるを得ないことで、院内で医療を受けることを強く望んでいることを示し、本邦の医療機常の風景になっており、当院が真に聴覚障害者のパリアフリーな病院となるよう、一層の努力を積みみたいと考えています。

## 最近の取り組み

◎10月23日、国立身体障害者リハビリテーションセンター学院の「手話通訳士専門研修会」において「聴覚障害者と心理臨床の接点」で心理士・古賀が講義を担当し、精神保健場で手話通訳士に期待したいこと等についても参加者と話し合いました。

◎8月9・10日、東京にて聴覚精神保健研究集会所が開催され、本院より、藤田保、井師井、西川が参加し「聴覚障害者外来 10年間の入院事例の検討」と題するレポート報告を行いました。その中で、当院だけの取り組みに終わらないよう、聴覚障害者がより身近な医療機関で安心して治療が受けられるような取り組みの必要性が話し合われました。

◎「みかんの情報」  
携帯電話の各社「ボタン・オン・au」が、身体障害者手帳・療育手帳・精神保健福祉手帳をお持ちの方を対象に基本料金50%割引を中心とした割引サービスを開始されました。詳細は各社HPにてご確認ください。

## コラム1

### 内科病棟と手話



内科病棟 看護師  
藤原 幸子

一年半くらい前から、療養型の内科病棟で仕事をしています。藤田先生が担当されている病棟ですから、当然コミュニケーションの方法は手話です。藤田先生が担当されている病棟です。毎日、情報をしっかりと持ち、患者さんと藤田先生のバイブほとんど筆談と口話ですが、回診時や必要時のみ他の部署のスタッフが通訳を手伝っていただきました。病棟の患者さんのほとんどが高齢者であり、寝たきりや痴呆の方も多く診療の時も声がかすかすか聞き取れなかつたり、声はあっても「ええ」「ええ」「はあ」「はあ」だけで、意味が読み取れなかつたり、口は動かしおられることも少なく言葉や内容がわからない事がよくあるのです。そのような患者さんの状態を藤田先生に伝えるには手話と、手話にはない言葉、症状や状態を指文字、指さし、空書き、身振り手振り等あらゆる方法を駆使しての対応が必ずやります。そこでいつも患者さんには一番身近に接している、毎日の情報をしっかりと持ち、患者さんと藤田先生のバイブほとんど筆談と口話ですが、回診時や必要時のみ他の部署のスタッフが通訳を手伝っていただきました。病棟の患者さんのほとんどが高齢者であり、寝たきりや痴呆の方も多く診療の時も声がかすかすか聞き取れなかつたり、声はあっても「ええ」「ええ」「はあ」「はあ」だけで、意味が読み取れなかつたり、口は動かしおられることも少なく言葉や内容がわからない事がよくあるのです。そのような患者さんの状態を藤田先生に伝えるには手話と、手話にはない言葉、症状や状態を指文字、指さし、空書き、身振り手振り等あらゆる方法を駆使しての対応が必ずやります。そこでいつも患者さんには一番身近に接している、毎日の情報をしっかりと持ち、患者さんと藤田先生のバイブほとんど筆談と口話ですが、回診時や必要時のみ他の部署のスタッフが通訳を手伝っていただきました。

## コラム2 「初めての手話

B7病棟 看護師  
鍋島 寿子

今年の8月よりB7病棟に勤務しております。鍋島寿子と申します。手話との出会いは今回が初めてで、当初自分ができるのだからと不安はありましたが今は院内の手話勉強会に参加したり、棟内のスタッフの方々に教わり、少しずつ習得している真っ最中です。この間、患者さんに血圧を測り、値を手話で伝えたり、笑顔でうなずかれました。とてもうれしかったです。こんな些細な事ですが、相手に通じるといふ大きな喜びを実感しました。緊急時の連絡のための単語、指示受けや連絡のための単語、声がかすかすか聞き取れなかつたり、声はあっても「ええ」「ええ」「はあ」「はあ」だけで、意味が読み取れなかつたり、口は動かしおられることも少なく言葉や内容がわからない事がよくあるのです。そのような患者さんの状態を藤田先生に伝えるには手話と、手話にはない言葉、症状や状態を指文字、指さし、空書き、身振り手振り等あらゆる方法を駆使しての対応が必ずやります。そこでいつも患者さんには一番身近に接している、毎日の情報をしっかりと持ち、患者さんと藤田先生のバイブほとんど筆談と口話ですが、回診時や必要時のみ他の部署のスタッフが通訳を手伝っていただきました。病棟の患者さんのほとんどが高齢者であり、寝たきりや痴呆の方も多く診療の時も声がかすかすか聞き取れなかつたり、声はあっても「ええ」「ええ」「はあ」「はあ」だけで、意味が読み取れなかつたり、口は動かしおられることも少なく言葉や内容がわからない事がよくあるのです。そのような患者さんの状態を藤田先生に伝えるには手話と、手話にはない言葉、症状や状態を指文字、指さし、空書き、身振り手振り等あらゆる方法を駆使しての対応が必ずやります。そこでいつも患者さんには一番身近に接している、毎日の情報をしっかりと持ち、患者さんと藤田先生のバイブほとんど筆談と口話ですが、回診時や必要時のみ他の部署のスタッフが通訳を手伝っていただきました。

「覚える」  
頭の上から頭の中へ



「考える」  
指先をこめかみに



「忘れる」  
頭の上にバツと..



◎編集後記  
来月には新館の完成です！  
お引越しいびに！楽しんで！